



# 神之木西寺尾地区

- ① 集会施設、文化施設  
地区センター等
- ② スポーツ施設
- ③ 小学校
- ④ 中学校
- ⑤ 高校
- ⑥ 大学
- ① 地域ケアプラザ  
地域包括支援センター
- ② 保育所・幼稚園  
子育て支援拠点
- ③ 高齢者施設
- ④ 障害者施設
- ⑤ その他の福祉  
保健施設
- ⊕ 病院
- 樹林地
- 農地
- 公園
- 文教厚生施設用地



## 地区概要

起伏のある丘の上の住宅地で、戸建て住宅、集合住宅が混在しています。

地区の西側はJR横浜線に接しており、区域に近接して大口駅があります。

丘の上には、西寺尾の丘公園、神の木公園などがあり、樹林が残っています。

## 地区基礎データ

### ●人口、世帯数等の概況(平成27年3月現在)

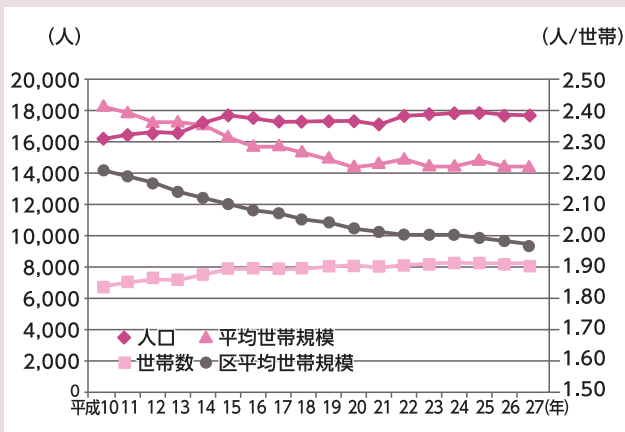
	神之木西寺尾地区	神奈川区
<b>総人口</b>	17,415 人	232,788 人
0～14歳	2,483 人 (14.3%)	27,667 人 (11.9%)
15～64歳	11,473 人 (65.9%)	155,501 人 (66.8%)
65歳～	3,459 人 (19.9%)	49,620 人 (21.3%)
<b>総世帯数</b>	7,822 世帯	118,697 世帯
平均世帯規模	2.23 人/世帯	1.96 人/世帯
65歳以上一人暮らし世帯	1,043 世帯 (13.3%)	15,662 世帯 (13.2%)

人口や世帯総数は安定した状態が続いています。

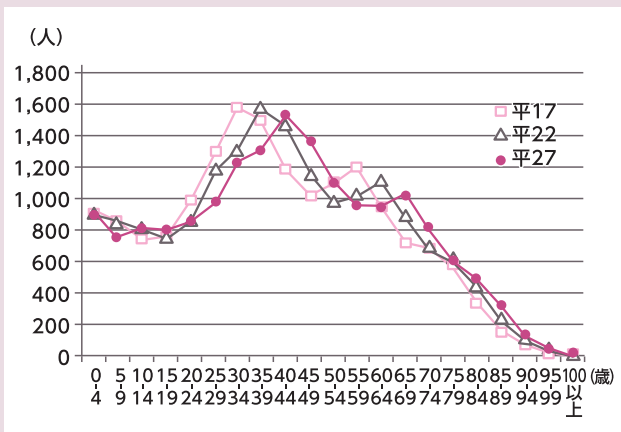
20歳台の緩やかな転入増加傾向が続いており、30～49歳が多い年齢構成になっています。

平均世帯規模が小さくなる傾向がありましたが近年は安定しており、区の平均規模を上回る状態が続いています。

### ●人口、世帯数、平均世帯規模の動向



### ●年齢5歳別人口の動向



\*「町別世帯と男女別人口」、「町丁別年齢別男女別人口」による。各年3月末現在

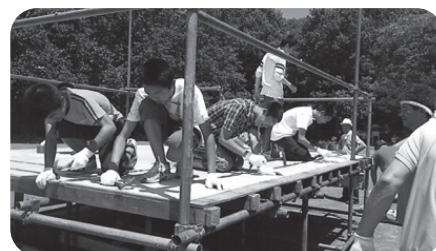
# 支え合う「向う三軒両隣」のまち 神之木西寺尾

## これまでの取組とこれらに向けて

ふれあい地域清掃、ふるさとまつり、防災拠点訓練やおたのしみ会など多彩な地域行事を開催しています。「中学生・高校生を地域につなげるしくみづくり」を目指して「あいさつ運動」を展開し、学校・地域・家庭が一体となって、場づくり・絆づくりを進めてきました。今後は、互いに顔の見える関係づくりを充実させつつ、参加者の固定化や担い手の不足といった課題に対応し、地域のさらなる活性化と日常もいざという時も互いに助け合えるようなしくみ・ネットワークづくりを進めることが必要とされています。

### 第一目標 日頃から顔の見える関係づくりを充実させよう

「あいさつ運動」などを通じ、住民同士が互いに信頼関係を築くことで、地域のつながりを強化します。住民同士のつながりを強化することで、地域の活動を身近にし、活動の担い手や日頃の見守り活動などを充実させます。



### 《取組目標1》 情報交換・共有の機会となる場を充実させよう

- ▶ 町内会・自治会の活動を身近に感じられるように、活動の場づくりや情報発信の方法を工夫し、顔の見える信頼関係や地域に参加する機会をつくる
  - 親子で参加できる行事を拡充し、若い世代が地域に参加する機会を増やす
  - 町内美化活動などを通じ、地域で活動する人を増やす
  - 班単位の活動を増やし、顔の見える信頼関係をつくる
- ▶ すくすくかめっ子の拡充など、子どもが積極的に地域に参加できる取組を充実させる
- ▶ 自治会・町内会をはじめ、さまざまな団体が話しあい、連携して取組を推進する場づくりを進める

### 《取組目標2》 いざという時、誰もが助け合える仕組みをつくらう

- ▶ 要援護者支援マップを作成・更新し、把握・見守りの仕組みを充実させる
- ▶ 日頃からの見守りを充実させ、孤立予防などにつなげる
- ▶ 安否確認の手段や防災備蓄の整備など、いざという時の仕組みづくりを行う
- ▶ 防災訓練の内容を充実させ、中学生等にも参加してもらい、いざという時の関係・体制づくりを行う